



2023年10月26日

参議院議員・薬剤師 本田 顕子

先月のオレンジ日記「大臣政務官 400 日を振り返って」において、政府の一員としての任を終えたとお伝えしました。10月20日に第212回臨時国会が開会し、参議院自民党の国会対策副委員会として円滑な国会運営に務めを果たそうと思っておりましたところ、急遽、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官を拝命いたしました。

当日の参議院本会議にて岸田総理が今回の人事について答弁し、本会議散会后、官邸での辞令交付、そして初登庁となりました。この人事により当初予定の行事への出席が叶わなくなり、関係者の皆様に日程変更をお願いすることとなり、改めてお詫び申し上げます。

文部科学省での私の担務は「科学技術・学術」と「文化」となりました。

11月1日に衆議院文部科学委員会に出席し、「大臣、副大臣とともに、科学技術・イノベーションの推進および文化芸術の振興に全力を尽くしてまいります。」と挨拶させていただきました。文部科学行政は薬学とも関係が深く、アカデミアや研究機関などによる基礎研究を後押しする役割も担っていますので、創薬やイノベーションの推進にも励んでいきたいと思っております。

大臣政務官就任に伴って文教委員会所属になり、厚生労働委員会を抜けることになりました。当選時から一貫して所属し、自らの専門性を生かせる思い入れの深い委員会ですので必ず戻ってまいります。

また、厚生労働大臣政務官の時期と同様に、委員会質疑や部会などの与党自民党の平場での発言は控えなければなりません。これまで私が注力してきた課題と信念に基づく政治活動は変わりません。

今年も残すところ2ヵ月を切りました。物価高・賃上げ対応のための総合経済対策および補正予算の成立と確実な執行、そして医薬品の供給不足解消につなげるための薬価制度の見直しやいわゆる「3報酬改定」に関して確実に成果を上げるための大事な時期です。引き続き、神谷政幸先生、薬剤師会および薬剤師連盟と共にチームとなって力を尽くしてまいります。何卒ご指導をよろしくお願い申し上げます。



10月26日 辞令交付後の記念撮影
岸田文雄総理と松野博一官房長官とともに



11月2日 盛山正仁文部科学大臣室にて政務3役の顔合わせ
左から、安江伸夫大臣政務官、今枝宗一郎副大臣、
盛山正仁大臣、青山周平副大臣、本人